



Topics ~循環器診療に役立つ、最新の話~

冠動脈3枝病変に対する治療PCI?バイパス?

冠動脈3枝病変に対するPCI、バイパス手術の選択は議論され続けています。2009年のSYNTAX trialはバイパス手術の優位性を示しましたがPCIで使われたステントは古く議論は決着しませんでした。右記の2021年のNEJMの論文は第2世代のステント vs バイパス手術ですが、こちらも全死亡・MI・脳梗塞の複合Endpointで差は認めませんでした(右図)。

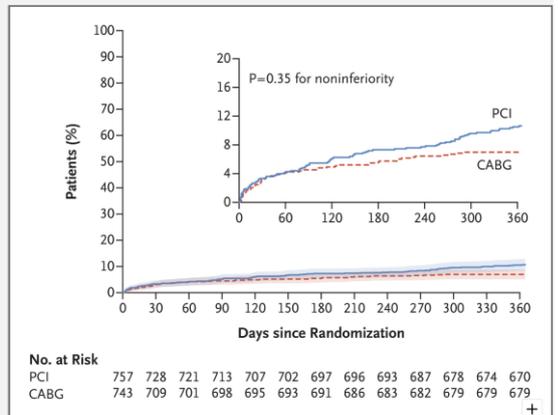
2022年にCirculationに掲載されたBEST trial(第2世代ステントとバイパス手術)10年の報告でも複合Endpointは差を認めませんでした。しかし上記Trial同様、再血行再建率はCABGで有意に低い結果となっていました。

当院では右下記のように左肋間からのバイパス手術を行っております(MICS-CABG)。PCI程ではありませんが身体に負担が少なく、バイパス手術の良さを併せ持つ術式です。PCIとMICS-CABGを組み合わせたHybrid Coronary Revascularizationも行っており、それぞれの患者様の既往や状態に応じたオーダーメイド治療をご提案可能です。

胸痛や心雑音がある患者様がおられましたら、いつでも当院までご連絡頂ければと考えます。今後とも宜しくお願い致します。

ORIGINAL ARTICLE
Fractional Flow Reserve–Guided PCI as Compared with Coronary Bypass Surgery

William F. Fearon, M.D., Frederik M. Zimmermann, M.D., Bernard De Bruyne, M.D., Ph.D., Zoltan Piroth, M.D., Ph.D., Albert H.M. van Straten, M.D.



文責 山中 将太

スタッフ紹介 Vol.6



山中 将太

医師

心臓血管外科 科長

2010年 愛知医科大卒

奈良県天理市出身です。関東に出てきて12年になりました。ずっとサッカーをしており、心待ちにしていたW杯決勝は緊急手術でほとんど見られませんでした。ドラマチックな展開に感動しました。

